



笑顔で伸びやかに夢に向かって

R5, 12, 22(金)

大好きです 砥用小！

美里町立砥用小学校学校だより



## 2学期、さまざまな学習活動に熱心に取り組むことができました！

強い日差し、蝉の声が聞こえ、とても暑かった8月から、雪が舞い校舎から見える山や家の屋根が真っ白になる12月まで、夏・秋・冬の3つの季節で、子供たちは、元気に学習し生活することができました。

がっ き  
2学期は、  
と  
友だちとともに  
Challenge(チャレンジ)

砥用小の2学期の合言葉は、  
「友だちとともにチャレンジ」でした。

毎日、短い時間ですが、各教室に学習の様子を  
努めて見に行きました。



5, 6年生の子供  
たち全員の机に  
貼ってあるカード

教室には、真剣に学習に取り組み、友達と力を合わせて課題を解決し、分かるように、できるようになっていく姿がありました。生き生きとした目や表情で学習に取り組んでいる子供たちの姿を見ることができると、

とても嬉しくなりました。ときには気が散り学習に集中できにくかったり、途中で諦めかけたりすることもあるでしょう。そんなときに、少しでも気持ちを奮い

立たせる手立てになればと思い、5, 6年生の子供たち全員の机に「『できるか できないか』ではない。『やるか やらないか』だ」と書いた言葉と、口でラケットを加えパラリンピックに出場した卓球選手のカードを貼っています。職員もチャレンジしました。協同して真剣に授業について



学び合い実践しました。子供たちが主体的に学習に向かい、「分かった」「できるようになった」という実感を伴い、力を付けていくことができるように。

休み時間になると、「〇年の～です。入っていいですか」と言って、子供たちが校長室にやってきます。ソファーに座って一緒におしゃべり。肩をマッサージしてくれる子もいます。けん玉をしたり、ゲームをしたりと、様々です。子供たちの笑顔を見ると、仕事の疲れも緩和され元気になりました。秋から

冬にかけ、イチヨウやモミジの木など、たくさんの枯れ葉が落ちるので、朝からブローアーで掃除をしています。5, 6年生は、登校して学習の準備をすると、すぐに出てきて、担任と一緒にボランティアで掃除をしてくれました。ととても寒かった昨日の朝にも、「校長先生がしているから手伝おうと思って」と、走ってきて雪が舞う中にイチヨウの葉を掃いてくれました(あまりにも寒く、雪もたくさん降っていたので、「ありがとう。もういいよ」と言って校舎内に入れました)。砥用小の子供たちは、とても素直で元気で、そして、誰かのために行動することができます。ありがたいことです。保護者の皆様には、今学期も本校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。良い年をお迎えください。

※子どもたちの学習の様子は砥用小学校ホームページでご覧ください。(裏面もあります)



宇城教育事務所の社会教育主事を講師に「熊本携帯電話・スマートフォン利用5か条」をテキストに、SNS に関する「親の学び」講座を実施した教育講演会に参加いただいた保護者の方々の感想の中に、「○家族で話し合い、家族の時間を大切にできたらと思った。○他の家庭の話聞くことで考えるきっかけになったし、我が家のルールを、再度、作ってみようと思った。○子供との時間を大切にしたい。○SNS の使い方を見直しゲームの時間等ルールを作っていきたい。○子供の SNS との関わりは必要なことなので、親も十分な知識を身に付け、安全に使用できるようにルール作りを子供も納得の上ですることが大切だと思った。」とありました。SNS は日常の道具の一つとなっていて便利な道具ですが、知識を身に付け正しく使わないと危険なことになる可能性があります。これは、子供たちだけでなく、大人も同様です。ぜひ、保護者も一緒にルールを家族で話し合い作っていただきたいと思います。休日の昼、つれあいと一緒に店に入ると…。隣の席で、父親と小学校低学年か年長児と思われる男児の二人が対面で座って食事をしています。「えっ」、思わず見返しました。男の子の目の前20cmにはタブレット。父親の手元にはスマートフォン。親子の間に、全くの会話はありません。二人とも、それぞれに画面を見ながら食事をしています。食事を終えた父親は、男児が食べ終わるのを、ただひたすらスマートフォンの画面を見ながら待っており、男児が唐揚げを床に落としたことにも気付きません。男児がおかずだけ食べ、ご飯が半分以上残った状態で店を出ていきました。

冬休みの期間、家庭で、家族で過ごす時間がたっぷりあります。ぜひぜひ、家族で、親子で、会話をして触れ合う時間を大事にしてください。子供たちが成長していくにつれ、家族で、親子で、一緒に何かをするという時間は確実に減っていきます。

冬休み期間中に、ぜひぜひ、お願いいたします。

必要なスキルですが、しかし、…。支配されることなく、主体的に使うことができるようになるよう。そして、家庭で、家族で、たくさんの触れ合う時間の確保を。